

[ゴルフ]

トピーカップ 男女とも団体4位

トピーカップ日米大学対抗選手権 トピーカップ日米大学対抗ゴルフ選手権が9月6日から8日まで、福島県棚倉田舎倶楽部で行われた。男子11校(うち米国チーム4)、女子5校(同2)が出場し、男女共に4位入賞を果たした。

個人では林佳世子(経営2・立正高)が首位と7打差で女子5位、原田大介主将(商4・大阪桐蔭高)が6打差で男子6位と健闘した。

女子は2年連続準優勝

関東大学秋季対抗戦 栃木県サンヒルズカントリークラブで行われた関東大学秋季対抗戦(女子=9月1、2日、男子=9月15、16日)では、女子が2年連続の準優勝、男子が4位となった。来年こそは悲願の関東制覇を果たしてほしい。

(澤田 和輝・法2)



4位入賞の男子メンバー(左から赤坂一樹、山口祐平、原田大介、勝又崇之、井上紳也)



4位入賞の女子メンバー(左から横山倫子、小川真実、木村香那、西村麻衣)

[卓球]

男子1部準優勝 最終戦で猪本が接戦制す

女子が2部優勝 1部復帰はならず

秋季関東学生リーグ戦 秋季関東学生卓球リーグ戦が9月6日から15日まで代々木第2体育館で行われ、男子が3勝2敗で1部リーグ準優勝、女子は4勝1敗で2部リーグ優勝を果たした。

【男子】初戦で中大から白星を挙げたが、早大、明大に敗れる苦しい展開。続く埼玉大戦に勝利し、迎えた最終日の大正大戦は一進一退のクロsgameとなった。勝負の行方を左右するラストゲームを猪本亮主将(経済4・徳島北高)が気迫あふれるプレーで制し、4-3で勝利。



気迫あふれる猪本主将のプレー(撮影・中西)

部員たちからは熱戦を制した猪本主将へ惜しめない拍手が送られた。猪本主将は「選手とベンチが一体となり、勝ち取ることが出来た。声援がとても力になった」と語った。

【女子】初戦の筑波大には敗れたが、残る4試合はすべて4-0のストレートで圧勝し、2部優勝を成し遂げた。

個人では、シングルス、ダブルスで好成績を収めた杉田早苗(商2・四天王寺高)が2部敢闘賞を受賞した。しかし、入れ替え戦では大正大に敗れ、念願の1部復帰はならなかった。

(橋本 麻未・経済2)

[相撲]

水野が135kg以上級で準優勝

池山、後藤ベスト8、相坂9位 4選手が全国大会に出場

東日本学生・個人体重別 東日本学生相撲個人体重別選手権が9月3日、靖国神社境内の相撲場で行われ、水野裕士(経営2・愛工大名電高)が135kg以上級で見事準優勝を収めた。

前日のケガを押して試合に臨んだ水野は「決勝まで行けたのは監督やOBの方たちの指導のおかげです」と話し、今後の課題を「前に出て相手を押し出すこと。1試合でも多く勝ち抜きたい」と力強い口調で語った。



同選手権では、池山辰徳(商4・鹿児島実高)が100kg未満級で、後藤健志(経営2・目黒学院高)が135kg未満級でそれぞれベスト8入りを果たし、相坂卓(経営1・三本木農高)も115kg未満級で9位。4選手が全国学生個人体重別選手権の出場権を得た。

10月2日、同会場で行われた全国学生個人体重別選手権では、池山、後藤がそれぞれベスト8入りを果たした。

11月には全国学生選手権(インカレ)も控えている。1試合ごとに力をつけ、飛躍していく彼らに注目したい。

(中川 泉穂・文2)

[アーチェリー]

関東選抜Bチーム 山本が優勝に貢献

全日本学生AJSAFカップ 9月16、17日、大阪府の服部緑地運動公園で、アーチェリーの全日本学生AJSAFカップが行われた。関東学生KSAFカップ3位の山本泰志(経営3・大宮開成高)が関東学生選抜Bチームのメンバーとして出場し、チームの優勝に大きく貢献した。

決勝で優勝候補・関西学生選抜との接戦を13—11で制しての栄冠に「全国クラスでの優勝は初めてで、とにかくうれしい。監督の「無心でやれ」という言葉を胸に、平常心を保つように心がけた」と話す。10月14日から始まる全日本学生フィールド選手権に向けて「無心でベストを精いっぱい尽くしたい」と意気込みを語った。



優勝に貢献した山本(撮影・橋本)

また、AJSAFカップには専大チームとして下田岳史主将(経済4・西湘高)、小林有士(経営2・千葉黎明高)、星瑛人(経営1・千葉黎明高)も出場し、惜しくも10位に終わった。

(荻野 敦子・文1)

[陸上競技]

「箱根」に照準 ピッチ上がる

11月6日全日本大学駅伝

駅伝シーズンが到来した。陸上競技部は「第82回東京箱根間往復大学駅伝競走」2年連続62回目出場を目指し、10月22日に立川市の国営昭和記念公園で行われる予選会に向け、練習に励んでいる。

予選会後の11月6日には学生三大駅伝の一つ、第37回全日本大学駅伝に出場する。6月の関東学連選考会を4位で通過し、4年ぶり16回目の出場を決めた専大。名古屋市熱田神宮前～三重県伊勢市の伊勢神宮までの全8区間106・8キロをシード6校、各地区学連の代表19校、計25校が駆け抜ける（8時10分スタート）。箱根駅伝に出場する大学とも顔を合わせることとなる重要な大会。伊勢路に復活する“Sマーク”に声援を送ろう。

(宮山 友希:文2)



予選会を目前に、練習にも熱が入る

元大関武双山が断髪式

年寄「藤島」を襲名

昨年の大相撲九州場所限りで引退した「平成の怪物」元大関武双山(本名＝尾曾武人さん・相撲部OB)の引退、年寄「藤島」襲名披露大相撲が10月1日、両国国技館で行われた。

断髪式では、本学の出牛正芳理事長＝写真、三島英雄専務理事、大野孝弘相撲部監督もまげにはさみを入れた。

